かんなお　と

# 菅直人プロフィール

［生年月日］１９４６(昭和２１)年１０月１０日
［本籍地］岡山県岡山市　［出身地］山口県宇部市
［出身校］都立小山台高校、東京工業大学理学部応用物理学科卒
［選挙区］東京都第１８区（府中市・小金井市・武蔵野市）
［肩　書］衆議院議員(１３期)、立憲民主党最高顧問、弁理士
［家　族］妻

- １９７１～７３年　「よりより住まいを求める市民の会」などさまざまな市民運動に参加。
- １９７４年　選挙を市民の手に取り戻そうと、故・市川房枝さんを参議院全国区に担ぎ出し、選挙事務長を務め、当選させる。
- １９７６年　ロッキード事件のなか「政治に市民常識を！」と衆議院選挙に東京７区から立候補し次点。以後、７７年参院選、７９年衆院選と続けて落選。
- １９７７年　故・江田三郎氏の要請を受け、社会市民連合の結成に参加。
- １９７８年　社会民主連合の結成に参加、副代表に就任。
- １９８０年　衆参ダブル選挙で初当選。
  丸山ワクチン許認可問題をきっかけに不明朗な薬事行政を追及。
  反核・軍縮運動に展開。金権政治刷新のため、“もう一つの反カク運動”に取り組む。
- １９８７年　土地問題特別委員会の委員になり、ライフワークの土地問題に積極的に取り組む。
  その後、野党で「土地基本法案」を議員立法として提出。
- １９８９年　参院選での与野党逆転をふまえ、国民連合政権構想策定に参加。
  政治改革、高齢化、国際化、情報化などに活動分野を拡大。
- １９９２年　政策研究集団「シリウス」を結成。さらに、武村正義、細川護熙氏らと超党派の「制度改革研究会」を結成、政界再編に向けて始動。
- １９９３年　５期目当選。４０年ぶりの政権交代を実現し、連立与党に参加。
  院内会派「さきがけ日本新党」に所属、衆議院外務委員長に就任。
- １９９４年　新党さきがけに参加、政調会長となる。自社さ政権では与党の政策調整にあたる。
- １９９６年　厚生大臣に就任、薬害エイズ事件の真相究明と介護保険制度の創設に取り組む。
  鳩山由紀夫氏らと民主党の結成に参加、二人代表の一人に。
- １９９８年　「民友連」の４政党が統一。新しい民主党の代表に。
  その後、政調会長、幹事長、代表代行を歴任。
- ２００９年　１０期目当選。民主党が歴史的大勝、ついに政権交代を実現。
  副総理、国家戦略担当大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策、科学技術政策）。
- ２０１０年　財務大臣。
  第９４代内閣総理大臣。
- ２０１１年　総理として、東日本大震災と福島原発事故対応の陣頭指揮にあたる。
  総理退任後は原発ゼロと自然エネルギーの普及にむけた活動に集中する。
- ２０１７年　立憲民主党の結成に参加。
  １３期目当選。